いわき市河川洪水ハザードマップ

想定最大規模
令和5年11月作成

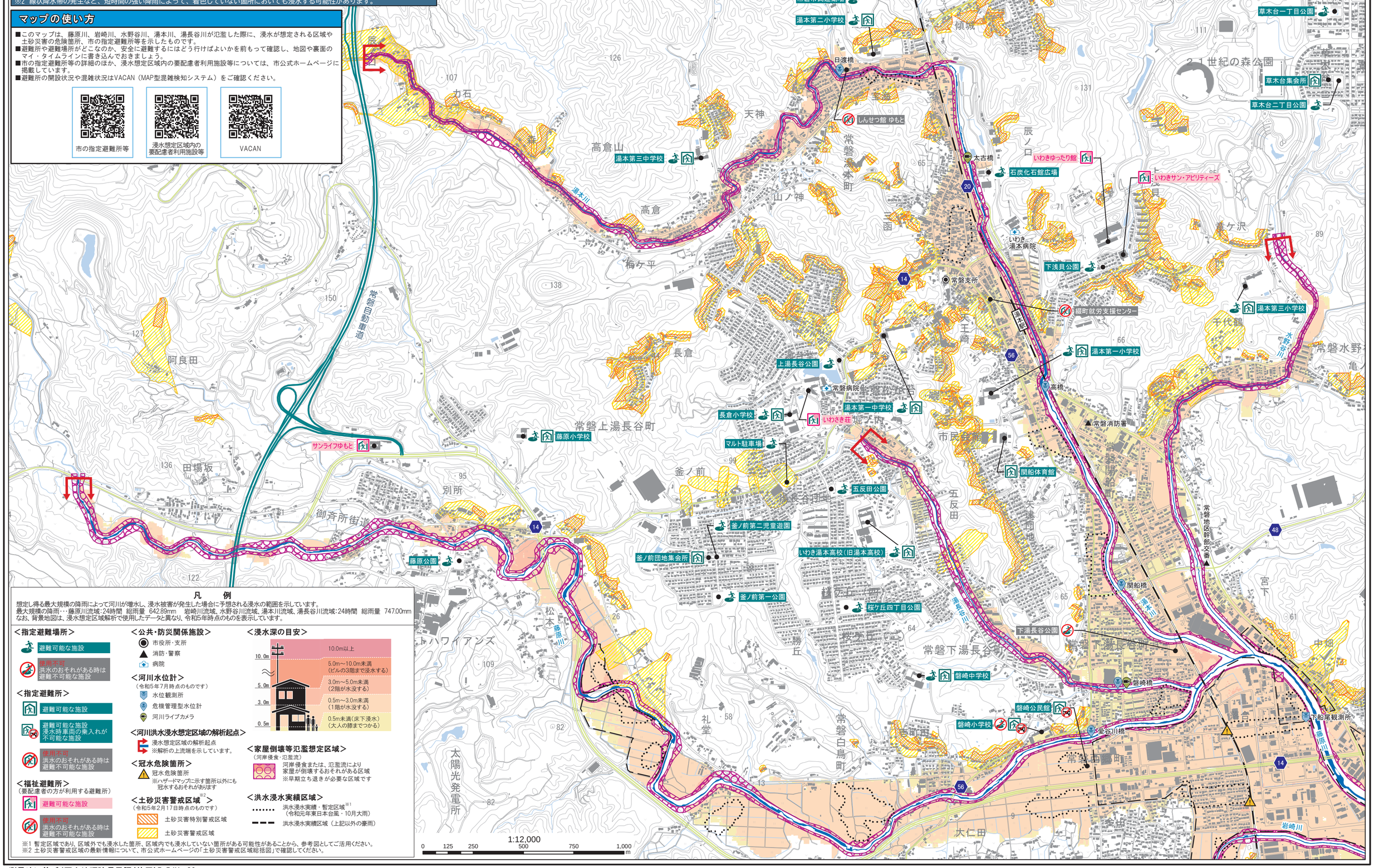
藤原川・岩崎川・水野谷川・湯本川・湯長谷川(常磐北部地区)

※1　このマップは、県が指定した浸水想定区域をもとに作成したものです。
（浸水想定区域：上記河川の解析区間内における河川の洪水を想定したもの）
※2　線状降水帯の発生など、短時間の強い降雨によって、着色していない箇所においても浸水する可能性があります。

マップの使い方

■このマップは、藤原川、岩崎川、水野谷川、湯本川、湯長谷川が氾濫した際に、浸水が想定される区域や土砂災害の危険箇所、市の指定避難所等を示したものです。
■避難所や避難場所がどこなのか、安全に避難するにはどう行けばよいかを前もって確認し、地図や裏面のマイ・タイムラインに書き込んでおきましょう。
■市の指定避難所等の詳細のほか、浸水想定区域内の要配慮者利用施設等については、市公式ホームページに掲載しています。
■避難所の開設状況や混雑状況はVACAN（MAP型混雑検知システム）をご確認ください。

市の指定避難所等
浸水想定区域内の要配慮者利用施設等
VACAN



凡　例

想定し得る最大規模の降雨によって河川が増水し、浸水被害が発生した場合に予想される浸水の範囲を示しています。
最大規模の降雨・・・藤原川流域:24時間　総雨量　642.89mm　岩崎川流域、水野谷川流域、湯本川流域、湯長谷川流域:24時間　総雨量　747.00mm
なお、背景地図は、浸水想定区域解析で使用したデータと異なり、令和5年時点のものを表示しています。

＜指定避難場所＞
- 避難可能な施設
- 使用不可 洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜指定避難所＞
- 避難可能な施設
- 避難可能な施設 浸水時車両の乗入れが不可能な施設
- 使用不可 洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜福祉避難所＞
（要配慮者の方が利用する避難所）
- 避難可能な施設
- 使用不可 洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜公共・防災関係施設＞
- 市役所・支所
- 消防・警察
- 病院

＜河川水位計＞
（令和5年7月時点のものです）
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 河川ライブカメラ

＜河川洪水浸水想定区域の解析起点＞
- 浸水想定区域の解析起点
- ※解析の上流端を示しています。

＜冠水危険箇所＞
- 冠水危険箇所
- ※ハザードマップに示す箇所以外にも冠水するおそれがあります

＜土砂災害警戒区域※2＞
（令和5年2月17日時点のものです）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

＜浸水深の目安＞
- 10.0m以上
- 5.0m～10.0m未満（ビルの3階まで浸水する）
- 3.0m～5.0m未満（2階が水没する）
- 0.5m～3.0m未満（1階が水没する）
- 0.5m未満（床下浸水）（大人の膝までつかる）

＜家屋倒壊等氾濫想定区域＞
（河岸侵食・氾濫流）
- 河岸侵食または、氾濫流により家屋が倒壊するおそれがある区域
- ※早期立ち退きが必要な区域です

＜洪水浸水実績区域＞
- 洪水浸水実績・暫定区域※1（令和元年東日本台風・10月大雨）
- 洪水浸水実績区域（上記以外の豪雨）

※1 暫定区域であり、区域外でも浸水した箇所、区域内でも浸水していない箇所がある可能性があることから、参考図としてご活用ください。
※2 土砂災害警戒区域の最新情報について、市公式ホームページの「土砂災害警戒区域総括図」で確認してください。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 89